

令和4年（2022年）9月5日

報道機関各位

函館市地域公共交通協議会
会長 奥平 理

グリーンスローモビリティ実証運行（南茅部地区）に係る
取材・報道について（依頼）

標記の件について、当協議会では、南茅部地区の縄文遺跡周辺における坂の移動の困難さを解消するとともに、遺跡間移動を支援し、路線バス利用者の利便性を向上させるため、低速電動カート「グリーンスローモビリティ」を用いた移動サービスの実証運行を行い、その需要調査や有用性について検証したいと考えています。

つきましては、実証運行の取材報道につきまして、ご対応いただけますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 期 間 令和4年9月10日（土）～25日（日）
※ただし、縄文文化交流センター休館日の12日（月）
および20日（火）は運休となります。
- 2 場 所 南茅部地区（縄文文化交流センターと「垣ノ島遺跡下」
バス停間、同センターと大船遺跡管理棟間の2系統）
- 3 時間帯 各日 11:19 ～ 16:16
- 4 利用料 無料
- 5 運転手 函館タクシー（株）所属のタクシー乗務員
- 6 その他 運行時刻表等詳細は別紙「チラシ」をご参照ください。

お問合せ先

函館市地域公共交通協議会事務局

（函館市企画部計画推進室交通政策課内）

担当：渡辺・沼田 TEL：21-3625



遺跡までの急な坂道もおまかせ！

ゆっくり走行で安心して乗れる！



グリーンスローモビリティ

大船遺跡と
垣ノ島遺跡を巡る
乗り物がやってくる。



JDPR

ハコダテグリスロとは？

縄文遺跡への移動を快適にする乗り物

函館市地域公共交通協議会では、垣ノ島遺跡や縄文文化交流センターを路線バスで訪れた際の、遺跡までの急な坂道の大変さを解消すべく、低速電動カート（グリスロ）を用いて時刻表で決められた時間に縄文文化交流センターと垣ノ島遺跡下バス停間を往復する実証運行を行います。また、縄文文化交流センターと大船遺跡間についても、遺跡間移動の選択肢の一つとして、路線バスの空白時間帯に1日2往復運行します。公共交通でお越しの際も、十分に楽しめるようお手伝いいたしますので、お気軽にご利用ください。

運行期間

2022

09.10^土

09.25^日

運賃
無料

9月12日（月）と9月20日（火）は、縄文文化交流センター休館日のため運行しません。
*運行期間中、低速車両が走行していますので、付近を通行の際はご注意ください。

乗車から降車までの流れ

1 出発地でグリスロに乗車する

2 潮風と共にゆったりと景色を楽しむ

3 停車してから席を立ち、降車する



協力/ヤマハ発動機株式会社, 公立はこだて未来大学, 函館酸素株式会社, 株式会社ハタヤリミテッド

お問合せ / 函館市地域公共交通協議会 (事務局: 函館市企画部計画推進室交通政策課)

〒040-8666 函館市東雲町4番13号 TEL: 0138-21-3625 MAIL: bus@city.hakodate.hokkaido.jp



運行コース & 時刻表

運行時刻は下記時刻表のとおりです、お乗り遅れのないようご注意ください。

なお、路線バスの運行状況により「垣ノ島遺跡下」バス停の出発時刻が遅れる場合があります。



凡例

縄文遺跡最寄バス停

グリスロ乗降地点

大船&垣ノ島遺跡周遊コース

垣ノ島遺跡下バス停接続コース

注意事項

○乗降地点は、大船遺跡への往復時は「縄文文化交流センター」、「大船遺跡管理棟」の2ヶ所です。垣ノ島遺跡下バス停往復時は「縄文文化交流センター」、「垣ノ島遺跡管理棟付近」、「垣ノ島遺跡下バス停」の3ヶ所です。そのほかの場所では乗降できません。

○9月12日(月)・9月20日(火)は縄文文化交流センターの休館日のため運行しませんのでお気をつけください。

○乗車中は、必ず座席にお座りください。車両の外側に体の一部や荷物、スマートフォン等を出すことは、危険ですので絶対におやめください。

○車両の定員は、乗務員を除き6名までとなっており、混雑時はお乗りいただけないことがありますのでご理解・ご協力願います。

○悪天候や災害の発生時等、運行上支障があると判断されたときは、運行を中止することがあります。この場合、函館市ホームページ上でお知らせいたしますので、ご確認ください。